



PICK UP 統計データサイエンス学環のカリキュラムイメージ

●地の塩、世の光奨学金

一般選抜または大学入学共通テスト利用入学者選抜を受験し、入学を希望する首都圏（東京〔島しょ部を除く〕、神奈川、埼玉、千葉）以外の道府県出身者で、学業成績が優秀かつ経済的理由で進学が困難な学生に対し、年額50万円を原則4年間継続（継続審査あり）で支給する奨学金制度。入学者選抜の出願前または出願期間中の申請期間に申し込み、合格発表前に入学後の交付を約束する「予約型」給付奨学金。

●2027年度一般選抜ダイジェスト

○2027年度一般選抜（個別学部日程）は①「独自問題+大学入学共通テスト」②「独自問題 + 大学入学共通テスト + 英語資格・検定試験」③「独自問題 + 英語資格・検定試験」④「独自問題のみ」のいずれかの形態で実施。○2027年度大学入学共通テスト利用入学者選抜は全学部・学環で実施。



高

等学校における教育制度改革が本格化する以前から、青山学院大学では新しい教育環境で学んだ高校生が円滑に大学進学できることを目指しています。



相模原キャンパス
教養と専門性を身に付けることに、「思考力・判断力・表現力」をさらに磨き、自ら課題を発見し解決へと導く力を育みます。

1年次 【基礎形成】	2年次 【基礎から応用へ】	3年次 【専門理論】	3年次 【技術応用】	3・4年次 【統合と創造】
4年間の土台となる数学・プログラミング・統計学・論理的思考の基礎固め	基礎から応用へステップアップするためのデータ分析の基本的習得	高度なデータ解析を支える専門的なデータ分析手法の理解の深化	複雑な現場データに挑む領域横断型の応用力の習得	4年間の知識を統合し、実社会での価値創造を目指す「臨床経験」と「卒業研究」
科目 解析学Ⅰ・Ⅱ 線形代数Ⅰ・Ⅱ 統計学基礎Ⅰ・Ⅱ プログラミング基礎Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ	科目 多変量データ解析Ⅰ・Ⅱ 統計調査Ⅰ・Ⅱ 数理統計学Ⅰ・Ⅱ 機械学習の基礎Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナールⅢ・Ⅳ	科目 機械学習の応用Ⅰ・Ⅱ 統計的モデリングⅠ・Ⅱ ベイズモデリングⅠ・Ⅱ	科目 非構造化データ分析Ⅰ・Ⅱ サブライフェンマネジメントⅠ・Ⅱ ビジネス会計データ分析Ⅰ・Ⅱ GISと空間解析応用	科目 統計データサイエンス演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ



青山キャンパス



青山キャンパス



2024年に創立150周年を迎えた青山学院は、建学の精神を受け継ぎながら時代の変化に応じた改革を重ね、スクール・モットー「地の塩、世の光」を体現するサーバント・リーダーを世に送り続けています。

2027年4月には、青山キャンパスに初の理系学士課程となる「統計データサイエンス学環」の開設を予定しています。統計学を基盤として既存5学部との関係による豊かな知見を生かしたデータサイエンス教育を展開。相模原キャンパスの理工学部とともに、次代の理系人材を育成します。

さらに、高校までの学びを大学教育へ円滑に接続するため、入学者選抜制度の改革を進め、多彩な学生の受け入れを推進しています。

2

01 青山キャンパスに来春誕生
統計データサイエンス学環
○2027年4月、青山学院大学は青山キャンパスに初の理系学士課程となる「統計データサイエンス学環」の開設を予定しています。教育人間科学部、経済学部、法学部、経営学部、理工学部の5学部が連携して運営する「学部等連係課程（学環）」として設置されるもので、AIやビッグデータの活用が急速に進む社会において、データを正しく読み解き、課題解決や新たな価値創造につなげられる人材の育成を目指します。

近年、統計学は計算機科学や機械学習の発展と結びつきながら、「データサイエンス」の中核基盤として大きく発展しています。海外ではイェール大学やカーネギーメロン大学、清華大学、シンガポール国立大学などが「統計データサイエンス」を冠する学部・学科を設置しており、統計理論とデータサイエンス教育を中核とした人材育成を進めています。一方、日本国内では「統計」を名称に掲げる学部・学環はまだ存在しておらず、本学環ではこうした世界的な潮流を踏まえた教育を展開します。

学びの軸となるのは統計学です。データの収集・整理・分析から、その結果を適切に解釈し、根拠に基づいて判断する力を体系的に養います。生成AIが社会基盤となりつつある今日だからこそ求められる、「自ら問いを立て、検証し、説明する力」の育成を重視し、不確実な時代において課題の本質を見極め、どのように行動すべきかを導き出せる思考力を身に付けることを目標としています。

教育面では、1学年60名の少人数制を採用。実データを活用した演習やPBL（課題解決型学習）、ゼミ形式の指導を重視し、1年次から

02

基礎から最先端まで国際水準の
教育・研究を展開する理工学部

相模原キャンパスを拠点に教育・研究を展開する理工学部は、物理科学科、数理サイエンス学科、化学・生命科学科、電気電子工学科、機械創造工学科、経営システム工学科、情報テクノロジー学科の7学科を擁し、理学と工学の両面から未来を切り拓く人材の育成に取り組んでいます。新しい高温超伝導体の発見をはじめ、超小型人工衛星「ARICA-2」の開発など社会に大きなインパクトを与える研究成果を数多く生み出しており、国内外から高い評価を受けています。

現代社会では、高度な専門性を基盤に複雑な社会課題を解決できる人材が求められています。同学部では、自然界の未知を解明する「理学」と、社会に役立つ新しい技術を創造する「工学」を体系的に学べるカリキュラムを整備。「工学」を体系的に学べるカリキュラムを整備。数学、物理、化学などの基礎から最先端のサイエンス＆テクノロジーまで幅広く学びながら、専門分野への理解を深めていきます。国際レベル

滑に大学での学び・研究へ移行できるよう、さまざまな教育・入学者選抜制度を整備しています。入学者選抜の中心となる「一般選抜（個別学部日程）」では、「思考力・判断力・表現力」の3つの力を重視した記述式や論述式、総合問題などを取り入れた独自問題を出題するほか、高等学校までに培った基礎学力を評価するために多くの学部・学科・学環では大学入学共通テストの成績を併用するなど受験生の学力や資質を多面的に測っています。独自問題は各学部・学科・学環のアドミッション・ポリシーに基づいて作成されており、受験生と学部・学科・学環との適性や学びの方向性を結び付ける役割も果たしています。なお、一部の学部・学科・方式では、共通テストを利用せず、独自問題のみで選抜を行う方式も設けています。

このほか、独自問題をマークシート方式で実施する「一般選抜（全学部日程）」や、「大学入学共通テスト利用入学者選抜」も実施しており、これら3つの選抜方式は併願が可能です。また、年内入試として学校推薦型選抜や総合型選抜も実施し、面接や口頭試問などを通じて、多面的・総合的な評価を行っています。

入学後は、高校までに培った力をさらに発展させるため、青山学院大学独自の教養教育プログラム「青山スタンダード」をはじめ、各学部・学科・学環の特色ある専門教育を展開。幅広い